

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 特種東海製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3708 URL <https://www.tt-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 松田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理事 財務・IR本部長 (氏名) 望月 浩生

TEL 03-5219-1816

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,615	1.3	783	41.4	2,949	15.7	2,328	26.1
2023年3月期第2四半期	42,071	8.3	1,337	40.2	2,549	18.8	3,150	8.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,278百万円 (106.8%) 2023年3月期第2四半期 1,585百万円 (57.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	196.19	195.51
2023年3月期第2四半期	262.23	261.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	130,531	81,278	57.0
2023年3月期	123,347	78,576	58.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 74,448百万円 2023年3月期 72,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		50.00		50.00	100.00
2024年3月期		50.00			
2024年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	7.0	3,000	82.8	6,000	47.8	4,000	3.2	334.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	13,300,000 株	2023年3月期	13,300,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,504,395 株	2023年3月期	1,405,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	11,868,741 株	2023年3月期2Q	12,016,001 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢等の地政学リスクや、インフレに伴う金融引き締めが続く中、景気は緩やかな減速が感じられました。先行きにつきましては、グローバルに目を向けますと引き続き景気減速が見込まれ、国内においては物価高による経済の下押し影響が懸念されるところです。当社グループの事業環境は、原燃料価格の高止まりや為替相場の円安基調等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、生産合理化による既存製紙事業の基盤強化に努めるとともに、第6次中期経営計画（2023年度から2025年度の3ヶ年計画）のもと、「営業利益50億円、経常利益80億円、ROE7.0%」の中期経営目標の達成のため、合成繊維（アラミドペーパー）等の成長分野の拡販や、今後成長が見込まれる環境関連事業のリサイクルビジネスの更なる拡大に注力してまいりました。第1四半期においては、環境関連事業を主軸とした事業ポートフォリオの変革を目指して、トーエイホールディングス株式会社の株式を取得いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は42,615万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は783百万円（前年同期比41.4%減）、経常利益は2,949百万円（前年同期比15.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,328百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①産業素材事業

主力製品である段ボール原紙及びクラフト紙につきましては、日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社を通じて販売しており、国内の物価高による買い控え等の影響により段ボール等包装材の需要全体が低調に推移したことで、販売数量は前年同期を下回りました。

利益面につきましては、水力発電による売電事業が順調に推移したことにより前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は21,372百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は521百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

②特殊素材事業

特殊印刷用紙につきましては、国内向けの需要減少が続いていますが、価格改定の浸透と海外向けファンシーペーパーの販売増加により、売上は前年同期並みとなりました。特殊機能紙につきましては、国内外の需要は低調に推移し、高耐熱性絶縁紙、環境配慮型製品の市場開拓に努めましたが、売上は前年同期を下回りました。

利益面につきましては、為替水準が引き続き円安基調であることに加え、前年度の高い原燃料で製造された在庫が払い出されたことで売上原価が増加し前年同期比で減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は10,342百万円（前年同期比1.9%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業利益718百万円）となりました。

③生活商品事業

ペーパータオルにつきましては、価格改定の仮需反動や新型コロナウイルス分類変更に伴う使用減、ラミネート等の加工品につきましては、包装用途の継続的な需要低下により、それぞれ販売数量は前年同期を下回りました。一方で、トイレトペーパーを含む生活商品事業全般において価格改定が浸透し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は9,022百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は258百万円（前年同期比323.7%増）となりました。

④環境関連事業

自然環境活用分野につきましては、建設事業の完成高が前年同期を上回ったこと等により増収となりました。また、資源再活用分野につきましては、新たに連結子会社化したトーエイ株式会社が当第2四半期から売上高に寄与したこと等により、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,290百万円（前年同期比32.4%増）、営業利益は23百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、130,531百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,184百万円の増加となりました。主な要因は、子会社の新規連結に伴う資産の増加によるものであります。

負債は、49,252百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,481百万円の増加となりました。主な要因は、子会社の新規連結に伴う負債の増加によるものであります。

純資産は、81,278百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,702百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。自己資本比率は57.0%となり、前連結会計年度末に比べて1.5ポイント低下しました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は3,637百万円となり、前年同期に比べ1,483百万円の増加となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,742百万円、減価償却費3,023百万円、持分法による投資損益△1,840百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は3,637百万円（前年同期は290百万円の獲得）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3,605百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は665百万円となり、前年同期に比べ4,963百万円の減少となりました。主な内訳は、短期借入金の増加額1,599百万円、長期借入れによる収入966百万円、長期借入金の返済による支出2,190百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,298	9,987
受取手形、売掛金及び契約資産	26,698	28,468
商品及び製品	5,057	5,028
仕掛品	955	1,273
原材料及び貯蔵品	7,234	7,371
その他	1,253	1,380
貸倒引当金	△17	△28
流動資産合計	51,479	53,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,422	16,513
機械装置及び運搬具（純額）	27,593	28,247
土地	11,066	12,640
その他（純額）	2,026	2,061
有形固定資産合計	57,108	59,462
無形固定資産		
のれん	986	2,769
その他	285	262
無形固定資産合計	1,272	3,031
投資その他の資産		
投資有価証券	11,029	12,642
繰延税金資産	1,313	939
その他	1,184	1,014
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	13,486	14,554
固定資産合計	71,867	77,049
資産合計	123,347	130,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,068	10,040
短期借入金	10,065	12,421
1年内返済予定の長期借入金	3,904	4,325
1年内償還予定の社債	70	80
未払法人税等	447	599
賞与引当金	436	474
その他	6,602	6,907
流動負債合計	31,594	34,848
固定負債		
社債	280	270
長期借入金	10,088	11,142
繰延税金負債	446	394
役員退職慰労引当金	72	96
環境対策引当金	52	52
退職給付に係る負債	1,349	1,385
資産除去債務	596	648
その他	289	414
固定負債合計	13,176	14,404
負債合計	44,771	49,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	5,502	5,503
利益剰余金	58,734	60,468
自己株式	△4,755	△5,087
株主資本合計	70,967	72,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,158	2,094
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	△23	△14
その他の包括利益累計額合計	1,135	2,079
新株予約権	129	144
非支配株主持分	6,344	6,685
純資産合計	78,576	81,278
負債純資産合計	123,347	130,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	42,071	42,615
売上原価	37,173	37,933
売上総利益	4,897	4,682
販売費及び一般管理費	3,559	3,898
営業利益	1,337	783
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	146	114
受取賃貸料	62	61
受取保険金	19	100
持分法による投資利益	955	1,840
その他	136	157
営業外収益合計	1,320	2,276
営業外費用		
支払利息	67	75
その他	41	36
営業外費用合計	109	111
経常利益	2,549	2,949
特別利益		
固定資産売却益	3	14
投資有価証券売却益	1,758	57
移転補償金	—	255
特別利益合計	1,762	326
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	48	100
減損損失	57	105
設備復旧費用	—	282
関係会社株式評価損	—	45
特別損失合計	106	533
税金等調整前四半期純利益	4,205	2,742
法人税、住民税及び事業税	1,055	571
法人税等調整額	△39	△163
法人税等合計	1,015	408
四半期純利益	3,189	2,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,150	2,328

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,189	2,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,615	929
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整額	13	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	5
その他の包括利益合計	△1,604	944
四半期包括利益	1,585	3,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,548	3,272
非支配株主に係る四半期包括利益	37	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,205	2,742
減価償却費	2,982	3,023
減損損失	57	105
のれん償却額	71	118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	△7
受取利息及び受取配当金	△146	△117
支払利息	67	75
持分法による投資損益 (△は益)	△955	△1,840
有形固定資産除却損	48	100
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△14
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,758	△57
受取保険金	△19	△100
移転補償金	—	△255
設備復旧費用	—	282
関係会社株式評価損	—	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△453	△1,399
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△652	△338
仕入債務の増減額 (△は減少)	△259	△65
その他	△815	57
小計	2,364	2,369
利息及び配当金の受取額	933	1,616
利息の支払額	△69	△71
法人税等の支払額	△1,094	△712
法人税等の還付額	0	78
保険金の受取額	19	100
移転補償金の受取額	—	255
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,153	3,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△277	△351
定期預金の払戻による収入	292	326
有形固定資産の取得による支出	△2,844	△3,605
有形固定資産の売却による収入	3	54
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	3,311	98
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△589
その他	△195	428
投資活動によるキャッシュ・フロー	290	△3,637

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△920	1,599
長期借入れによる収入	—	966
長期借入金の返済による支出	△2,483	△2,190
社債の償還による支出	△35	△40
自己株式の取得による支出	△1,260	△337
配当金の支払額	△858	△594
非支配株主への配当金の支払額	△72	△60
その他	0	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,629	△665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,185	△666
現金及び現金同等物の期首残高	11,722	9,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,537	9,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が337百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,087百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	20,815	9,931	8,474	2,849	42,071	—	42,071
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,030	612	101	1,145	2,890	△2,890	—
計	21,846	10,543	8,576	3,995	44,962	△2,890	42,071
セグメント利益 又は損失 (△)	520	718	61	△34	1,264	73	1,337

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	20,019	9,795	8,918	3,881	42,615	—	42,615
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,353	547	104	1,408	3,412	△3,412	—
計	21,372	10,342	9,022	5,290	46,028	△3,412	42,615
セグメント利益 又は損失 (△)	521	△71	258	23	732	51	783

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。